

2021年2月21日付 建設新聞第16面 (最終面)



日本建設情報センター(CIC、東京都港区)は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴う「一次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる他、自分のペースで学

C I C 施工管理検定の技士補等 新試験対応の講座開講

習できる点も特徴となっている。写真。

施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に1級施工管理技士補は、主任技術者の有資格者を加えて監理技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監理技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化することを見込んだ講座内容とした。

同社では施工管理技士の他、第一種・第二種電気工事士や電験三種など多くの建設系資格講座を開催している。